

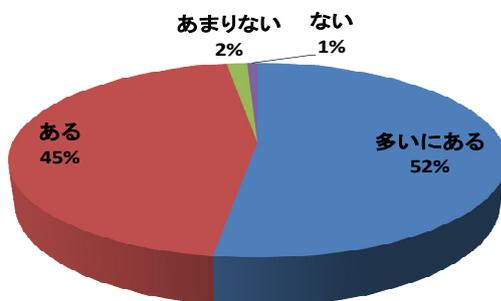
木々の葉もすっかり色づいてまいりました。地域の医療機関様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

今回の地域医療連携室ニュースは、登録医の先生方にご協力いただきましたアンケート結果のご報告をさせていただきます。地域の先生方からいただいた貴重なご意見を真摯に受け止め、今後も地域医療支援病院として地域住民の健康保持・増進に努めてまいりますので、お気づきの点がございましたらご指導の程よろしくお願いたします。

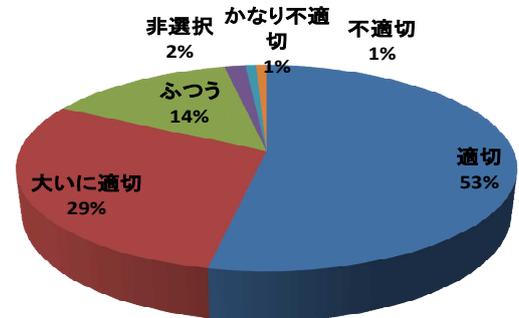
【アンケート結果報告】

期間：6月27日～7月20日 対象：市立池田病院登録医 配布数：354施設 回収率：35.5%

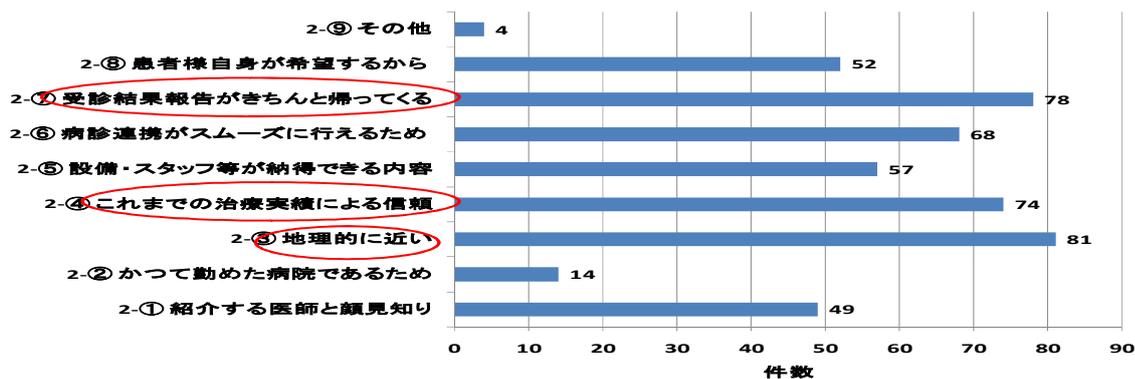
Q当院に患者様を紹介されたことがありますか？



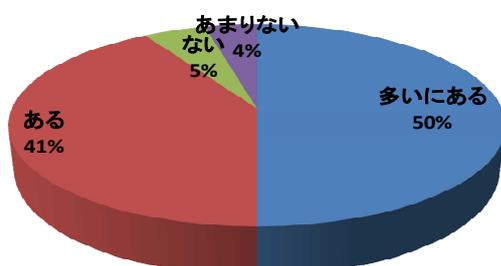
Q当院での対応は適切だと思いますか？



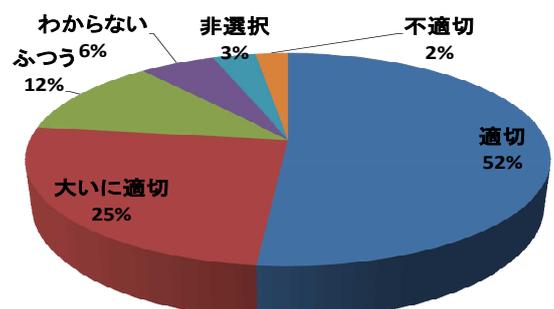
Qご紹介をいただく際の主となる理由について、お答えください。(複数回答可)



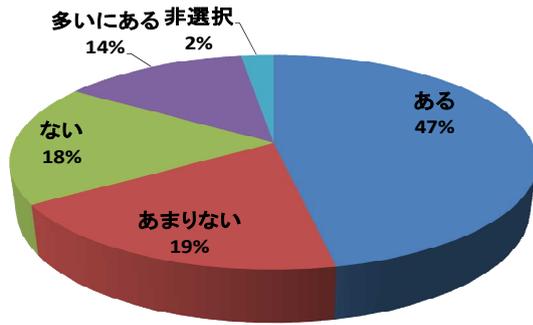
Q地域医療連携室を診察予約でご利用頂いたことがありますか？



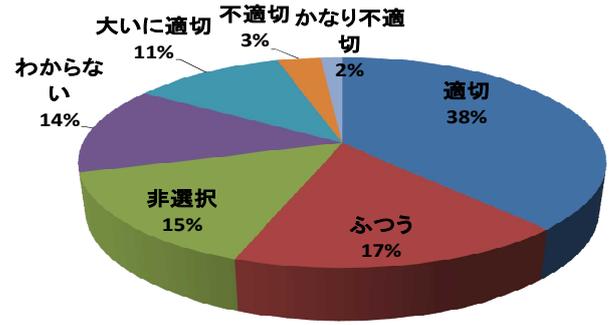
Q地域医療連携室の対応は適切だと思いますか。



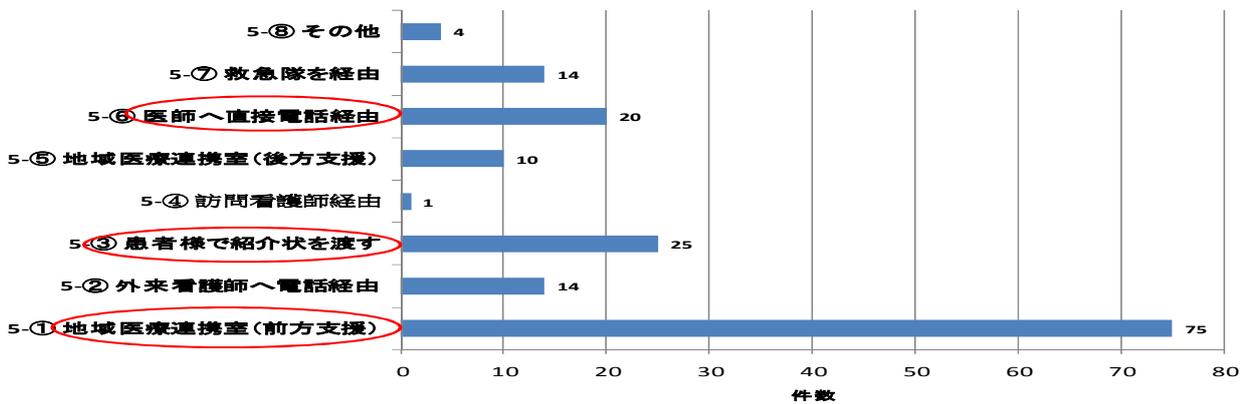
Q緊急患者様のご紹介をされたことがありますか



Q救急受け入れの対応は適切だと思いますか。



Q緊急患者様をご紹介される際に、主に利用されている窓口はどこですか。

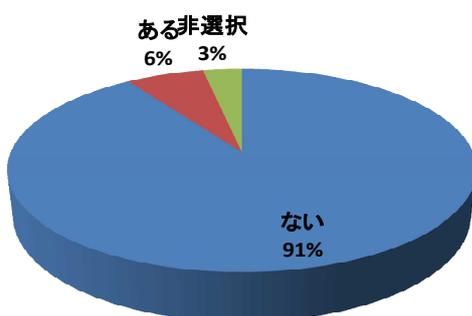


その他、自由記載

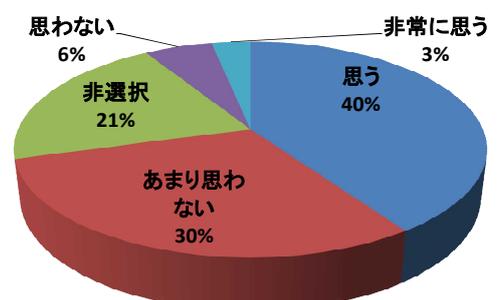
- ・「三次救急に送るべき」と言われ、その判断をするべき
- ・医師のマンパワー不足
- ・休日なのに採血データを看護師に聞かれた
- ・救急受け入れできない場合は、次を紹介してほしい
- ・救急担当医師の態度が横柄。特に女医
- ・拒否されることが多い(入院拒否も含む)
- ・時間外は専門医師以外は断られる
- ・診療可能かの連絡が遅い
- ・5時以降の診療拒否が多い

今年度中に、地域の医療機関様と今後の救急医療の体制や急性期病院のあり方など、意見交換が行える場を設けたいと考えております。
それぞれの立場を再確認することで、これからの地域医療連携の強化に繋げて行きたいと考えております。

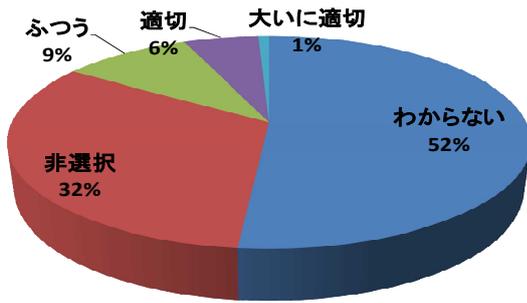
Q地域医療連携クリニカルパスを活用されたことはありますか



Q今後、地域医療連携クリニカルパスの活用を検討したいと思われますか



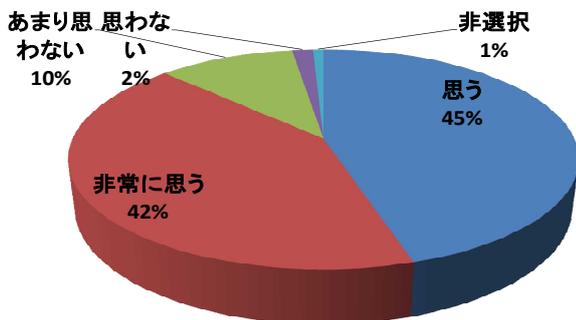
Q当院の地域医療連携クリニカルパスは適切ですか



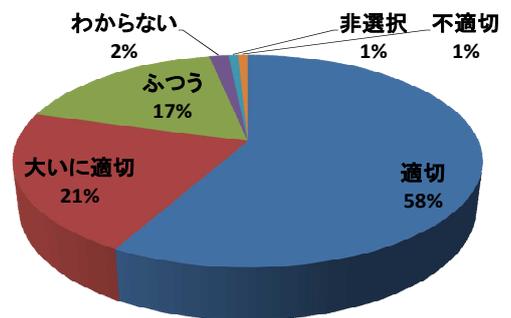
その他、自由記載

- パスが何かわからない
- 電子化で連携を図りたい
- パスの内容がわからない
- 手間がかかる
- 初めて知った
- 地域連携パスのイメージが湧かない。慢性痛の取り扱いでしょうか
- 二人主治医制なら活用したい

Q患者様をご紹介いただいた際の受診報告書について、今後も必要と思われますか。



Q当院からの受診報告書は適切ですか。

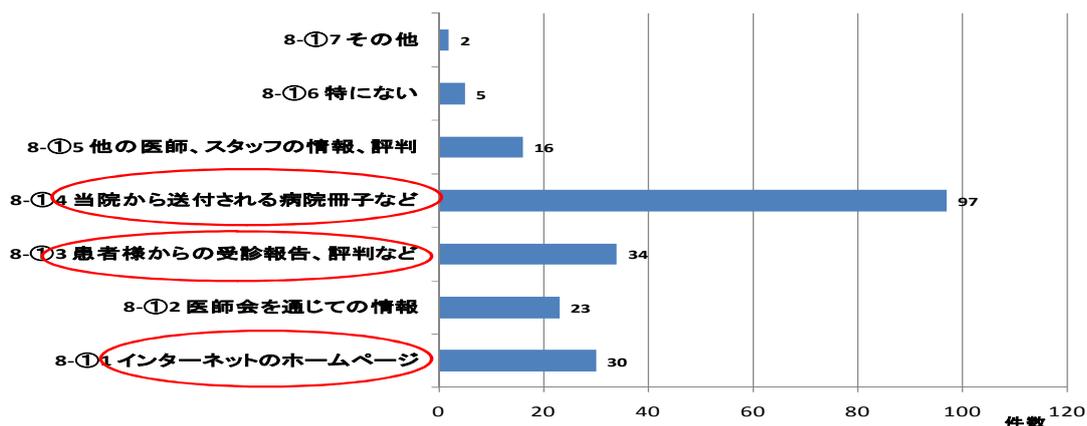


その他、自由記載

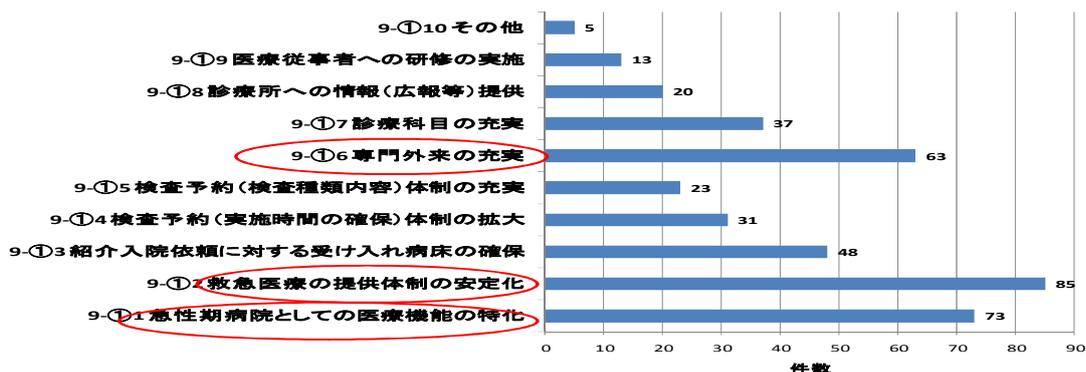
- 事務的な受診報告書は、それ程重要ではない
- 受診後の詳細な報告書がほしい
- 死亡に至った経緯がほしい
- 受診されていない場合のみ連絡がほしい
- 入退院を繰り返している場合は不要
- 病状や経過がわからない
- 報告が簡単すぎる
- 結果報告は早めにほしい

事務的な受診報告書を必要とされない医療機関様は、お申し出いただきましたら FAX 送信を中止させていただきます。診療情報提供書に関しましては、ご紹介いただきました患者様はできる限り早めにお返事させて頂くよう努力してまいります。

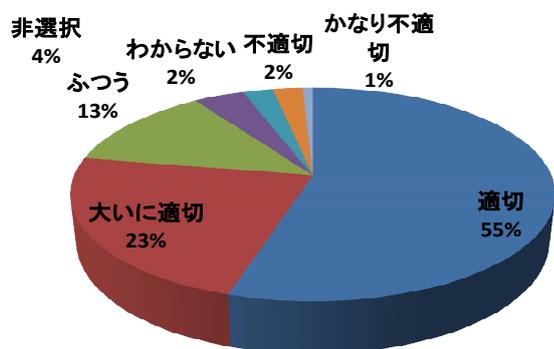
Q当院の情報を知る手段として、主に活用されているもの



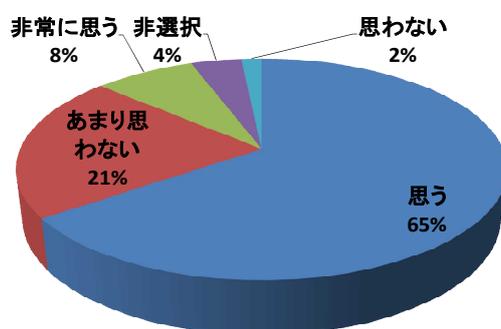
Q当院の地域における役割と考えるおられるものを、お答え下さい(複数回答可)



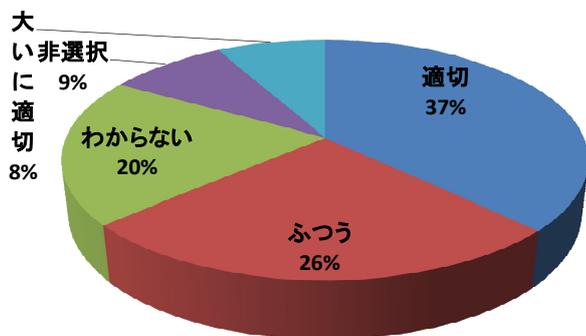
Q当院の地域における役割は適切と思われるですか



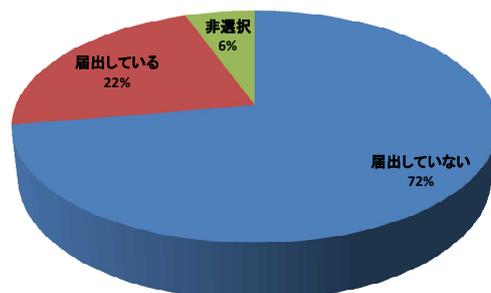
Q当院で開催される研究・研修会、情報交換会に参加したいと思われるか



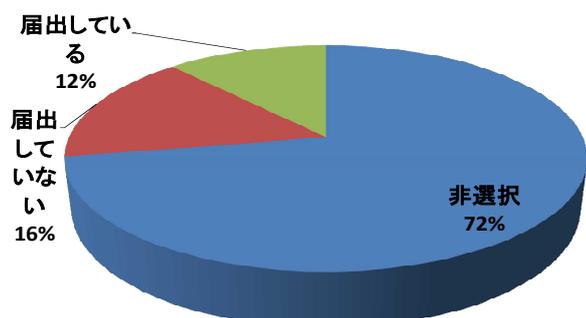
Q当院で開催される研究・研修会、情報交換会は適切ですか。



Q現在、「在宅療養支援診療所」の届出をされていますか。



Q市立池田病院を緊急時に入院できる連携保健医療機関として届出をされていますか



地域医療支援病院とは、かかりつけ医を支援し、地域医療の充実を図ることを目的とし、2次医療圏ごとに整備される病院。施設の協同利用、地域医療従事者の研修なども行います。200床以上の国公立あるいは公的な病院、社会福祉法人等に認められ、紹介率80%以上あるいは紹介率60%以上かつ逆紹介率30%以上、紹介率40%以上かつ逆紹介率60%以上を原則とし、機能分担と連携を目指します。

(診療点数早見表の用語の意味より)